

東北森林管理局

山形森林管理署 もがみ支署通信

【東北農林専門職大学と山形森林管理署最上支署の人材育成に関する連携協定】を締結しました。

両代表による協定書への署名。



協定締結となりました。



提供フィールドの一例(ナナ林)。



【4月23日(火)】今年4月に開学した東北農林専門職大学を会場に、東北農林専門職大学と山形森林管理署最上支署の人材育成に関する連携協定締結式が執り行われ、協定書への両代表の署名により協定締結となりました。

この協定は東北農林専門職大学を核として、森林業の技術や知識を学び、森林業の中心的な役割を担う人材育成等の育成を図ることを目的に、研修や調査・研究のフィールドに国有林を提供する内容となっております。

研修フィールドは最上支署が管轄する最上地域8市町村に所在する国有林一円とし、その一部を調査・研究フィールドとして提供することとなりました。

今後、このフィールドで学生たちは植付、下刈り、間伐などといった一連の森林整備や高性能林業機械の操作研修、伐採作業現場の見学などを行うこととなります。また、従来の林業だけでなく自然観察や市民講座といった森林環境サービスに関する取組も検討されているそうです。

山形森林管理署最上支署は協定に基づき東北農林専門職大学と連携し、これからの山形県、ひいては東北、日本の森林業をけん引していく担い手育成の手助けとなるよう積極的に協力して参ります。

【山火事が発生しやすいシーズンが続いています。】

国有林林道入り口などに設置。



車両にも表示し呼びかけを。



最上地域にも春が訪れ、山間部での融雪も日に日に進み山の恵みを享受できるシーズンがやってきました。

前月号では林道走行に関する注意喚起をさせていただきましたが、今月は山火事防止についてふれます。

春の味覚を求めて休暇などを利用した山間部での山菜取りが本格化してくる時期でもある4月から5月は、融雪後間もない時期でもあり、地表部には落葉や枯草などの燃えやすいものが堆積しているので、出火しやすい状況です。

貴重な森林資源を山火事で失うことの無いよう山形森林管理署最上支署では、国有林の各地に写真の様な横断幕を設置し、山火事防止への呼びかけを行っております。

入山の際は、火気の扱いに十分注意すると共に、お怪我などしないよう気を付けて春の山々を満喫いただければと思います。



山形森林管理署 最上支署
〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11
TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

